

関市 武芸川地域 アクセスマップ



寺尾ヶ原千本桜公園



道の駅 むげ川



お問合せ先

関市武芸川事務所

〒501-2695 関市武芸川町八幡1446番地1
TEL.0575-46-2311(代) FAX.0575-46-3744

信長と
武芸八幡宮

関市
(一社)関市観光協会

下馬標
(岐阜県指定重要文化財)

下馬標とは「これより奥へ行くには、馬や駕籠から降りて歩きなさい」という命令を下した標識です。社伝によると一五七〇年ごろ織田信長が建立したと伝えられています。ちょうど信長が美濃を平定し岐阜城主であった時期にあたります。
高さ一・五メートル、幅〇・四メートルです。



参道

参道沿いに立ち並ぶ杉の大木は、往時の面影を残しています。



歴史の鼓動を求めて、信長が入々の心に安らぎを与えた舞台を歩く。

信長の面影を残す 武芸八幡宮

武芸八幡宮大杉
(岐阜県指定天然記念物)

拜殿に向って左側、拜殿から約二五〇メートルのところに神木といわれるひとときわ大きな杉があります。目通六・七メートル、樹高三八メートル、樹齢約千年といわれています。



■ 拜殿



■ 太鼓橋 ■ 随神門

武芸八幡宮

養老元年(七一七) 泰澄大師が、大確命を祀ったのが始まりです。大確命は、父・景行天皇(七一一三〇)の命令を受けて、国造としてこの地方を治められた方です。美濃の美しい娘を妃にしたと伝えられ、この地で亡くなられると八幡山に葬られたといわれています。





■鐘楼(永和四年・1378)

武芸八幡宮の境内には、大聖寺という立派な寺がありました。十二坊を揃えていたという事と、多くの安堵状がこの大聖寺宛に出されている事から、格式の高い立派な寺であったと考えられます。明治の神仏分離令により、寺は壊されてしまいました。しかし、鐘楼だけは、今も残っています。

この鐘楼は武芸川町で最も古い建築物とされています。

鐘楼 (関市指定有形文化財)

再興当時の武芸八幡宮附近想像図
(●印は現在所在しています)

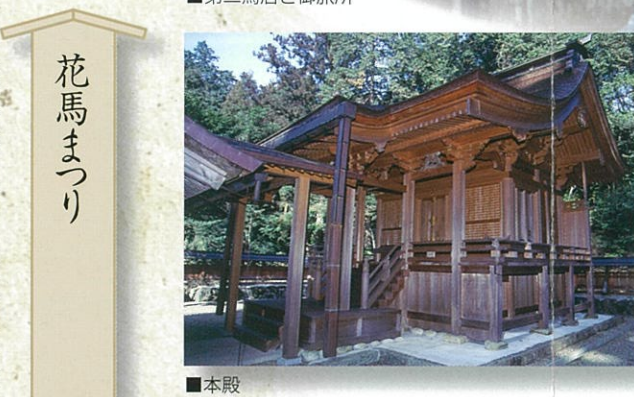


花馬まつり

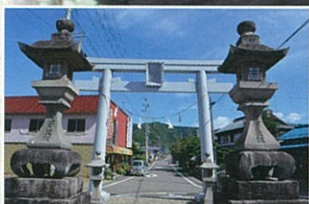
毎年、四月中旬(十五日に近い日曜日)に行われます。笛太鼓の調べと共に、雅な神楽館と桜の造花で飾られた花馬が登場。その手綱が弛んだ途端、参道から祭り広場に花馬は駆け込みます。すると氏子や見物人が我先にと、この暴れる花馬の造花を奪い合うという、勇壮華麗な祭事です。



■武芸八幡宮祭礼「花馬まつり」



■本殿



■第一鳥居



■第二鳥居と御旅所

その後の頃からか、応神天皇を神として、今日に至っています。観応二年(二三五)森蘭丸の祖先にあたる森又太郎源泰朝が、社殿を再興しました。その後も森家とのつながりは深かったようで、蘭丸の父親・森可成の書状も保存されています。蘭丸は、織田信長が可愛がった小姓でしたが、本能寺の変で信長を守りながら最期を遂げました。このように信長・蘭丸共にゆかりの深い八幡宮らしく、八幡地区には今も「小田野」という小字名が残っています。信長は、毎年十月十五日に代参を八幡宮へ送りました。その代参をお迎えした所の字名です。元は「織田野」でしたが、恐れ多いので、後に「小田野」に改められたのです。江戸時代に入ってから笠松郡代から武芸谷十力村の惣社と定められ厚遇されました。現在も金幣社として近郷近在の信仰を集めています。



◆ 信長と武芸八幡宮のかかわり

織田信長が、稲葉山城を攻略したのは、永祿十年（一五六七）です。合理的で進取の精神に富む信長は、井ノ口を岐阜と改め、稲葉山城を岐阜城としました。

さらに、人心を治め経済の繁栄を図るために、樂市樂座を設けたり、主な寺社に禁制や安堵状を与えました。武芸八幡宮もその一つです。というのは、岐阜城からみると、丑寅といって北東の方角に当たり、鬼門鎮護として、重要な位置を占めていたからでしょう。

織田信長が、この武芸八幡宮に安堵状を出したのは、永祿十年十月のことでの寺社よりも早く、安堵状を届けました。その後、天正四年（一五七六）信長が近江の安土城へ移ると、岐阜城は長男の信忠に譲りました。その年の十二月には、信忠も信長の意思を継いで、武芸八幡宮へ安堵状を与えています。

ところが、天正十年（一五八二）、本能寺の変で信長・信忠親子が敢えない最後をとげると、岐阜城の実権は、織田信孝へ移ります。織田信長の三男であった信孝も、やはり領民の不安を鎮めるために寺社へ安堵状を与えています。武芸八幡宮へも天正十年七月に安堵状が出されました。

この後、関ヶ原合戦と共に岐阜城主としての織田家は滅んでしまいました。

現在、武芸八幡宮には、織田信長・信忠・信孝の三人の安堵状と森可成・武井夕庵の書状が保管されています。



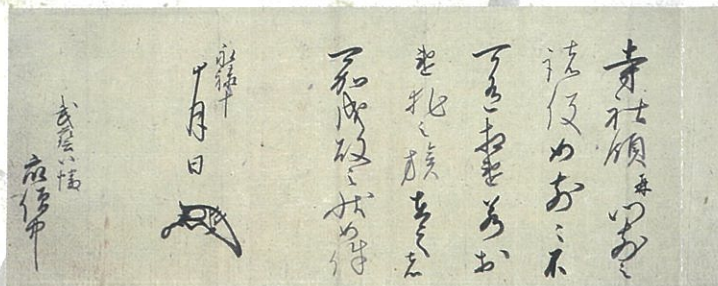
※御朱印はあらかじめ押印した用紙が拝殿に用意されています。

◆安堵状・書状

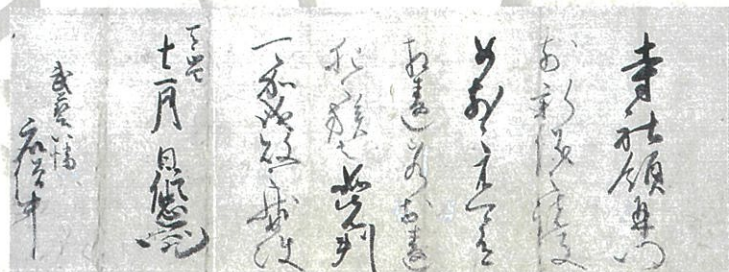


信長 麒麟の花押

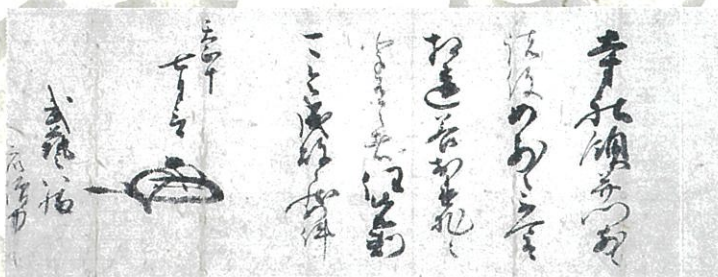
【信長の安堵状】



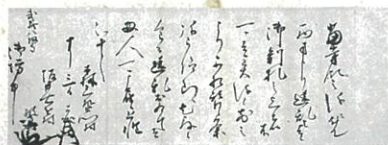
【信忠の安堵状】



【信孝の安堵状】



【森可成の書状】



森蘭丸の父親 戦事奉行

【武井夕庵の書状】



信長の祐筆家